



第30回 日本医学会総会
2019 中部 ランチョンセミナー 26



2019年 4月28日(日) 12:50~13:40



第14+15会場 名古屋国際会議場 2号館2階
名古屋市熱田区熱田西町1番1号

フレイルと人参養栄湯 — 健康長寿に向けて —

座長

葛谷 雅文 先生

名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学 教授
名古屋大学未来社会創造機構 教授

演者

乾 明夫 先生

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 漢方薬理学講座 特任教授



ランチョンセミナーへの参加には、整理券(無料)が必要です。
ランチョンセミナー整理券発券所で配付いたします。
予定枚数終了次第締切ります。
整理券は、おひとり1枚限り、当日分のみ配付となります。
整理券は、各セミナー開始後に無効となります。
場所：名古屋国際会議場2号館1階展示室211
受付時間：4月28日(日) 7:30~11:30
※残数がある場合は、11時30分以降に会場前にて配付します。

共催：第30回日本医学会総会2019中部
クラシエ 薬品株式会社

フレイルと人参養栄湯

— 健康長寿に向けて —

高齢化の進む我が国において、予防医学の立場から注目されているのが、サルコペニアを基礎としたフレイル(frailty)である。サルコペニア(sarcopenia)は骨格筋萎縮をさし、加齢に伴うGH-IGF1系や性ホルモンの低下を背景に、急速に筋肉量の減少を生じやすい。フレイルは漢方で言う未病病態であり、フレイルを予防、加療することによる健康寿命の延長が愁眉の課題になっている。

フレイルは補剤の良い適応であり、多成分系を特徴とする漢方は、多様な身体疾患や食欲不振・不安・抑うつ・認知など、心身両面の異常を示すフレイルの治療に威力を発揮するものと期待される。人参養栄湯は最強の補剤とも称され、がんの緩和医療などに広く応用されてきた。人参養栄湯はがん患者の疲労、貧血、血小板低下、肝機能障害などを改善し、また抗がん剤の抗腫瘍効果を増強し、副作用を軽減させると報告されている。高齢者においては、免疫機能の強化、感染の抑制など在宅医療への応用や、食欲促進、サルコペニアの軽減などフレイルの予防・治療効果が報告されている。

本講演では、健康長寿に及ぼす人参養栄湯の作用とそのメカニズムを、我々の最新の成果を交えて述べる。

略歴 乾 明夫 (いぬい あきお) 先生

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 漢方薬理学講座 特任教授

1978年 3月	神戸大学医学部卒業
1978年 6月	神戸大学医学部附属病院医員(研修医)に任用
1984年 7月	神戸大学医学部助手に任用
1997年 12月	神戸大学医学部附属病院講師に任用
2000年 1月	神戸大学医学部助教授に任用
2001年 4月	神戸大学大学院医学系研究科 応用分子講座 消化器代謝病学分野(旧二内科) 助教授に任用
2004年 10月	神戸大学病院 糖尿病代謝内科診療科長に任用
2005年 1月	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 社会・行動医学講座 行動医学分野(現 心身内科学分野)教授 及び 鹿児島大学病院 呼吸器・ストレスケアセンター 心身医療科診療科長に任用
2009年 4月	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 健康科学専攻長に任用
2012年 7月	鹿児島大学病院 漢方診療センター長に任用
2018年 4月	鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 漢方薬理学講座 特任教授に任用
	現在に至る